

## 行事報告

1月23日土曜日に、今年度第2回の学校公開を行いました。昨年度より始めた学校公開も、4回目になりますが、今回初めて土曜日開催を試みました。また、午後から聴覚障害者福祉協会主催の移動母子教室として帝京大学名誉教授であり田中美郷研究所長の田中美郷先生を講師にお招きして御講演をいただきました。日本の聴覚障害教育をリードしてこられた先生の講演もあるということで、県内はもちろんのこと県外からも多くの方の参加がありました。授業公開だけでも、外部から43名の方々が幼稚部から高等部までの本校の教育活動を参観されました。参観者からの感想を一部御紹介してみます。

「一人ひとりにあった教材と学習ができていて、丁寧であった。」「子どもが中心であった。」「幼稚部では伝えたいという気持ちが存分に発揮されていた。」「小学部の発表会が良かった。」「手話の活用がとてもよい。学校公開を企画してくれて感謝している。」…感想からも、本校の教育活動を広く

## 第2回 学校公開・講演会

理解していただける良い機会になったのではないかと思います。

午後からの田中先生の「聴覚活用と手話」という講演には、県内外から121名の方が参加されました。感想には、「今日から自信を持って子どもと精一杯向き合い育てていきたい。」「子どもとのかかわり方に迷っていたけどスッキリした。」などあり、乳幼児を持つ保護者の方はもちろんのこと聴覚障害教育関係者にとり大変貴重な講演会となりました。

来年度も本校では、学校公開を計画しています。是非、御参加いただけるようお願いいたします。



## 「耳の日まつり」に行ってみませんか？

耳の日まつり実行委員会

て・と・手・と・



## 「耳の日まつり」 手話で遊ぼう・話そう・盛り上がるろう！

今年の「耳の日まつり」はエミフルMASAKIで行います。  
手話コーラスや○×ゲームで盛り上がり、手話をアピールしましょう！  
盛り上がった後はエミフルでお買い物～！



問合せ先：愛媛県聴覚障害者協会  
TEL/FAX 089-923-7928  
開催日：平成22年3月7日(日)  
開催時間：10時30分～12時00分  
会場：「エミフルMASAKI」  
1階 グリーンコート

手話コーラス  
「千の風になって」「アンパンマン」「この街で」など  
○×ゲーム  
お天気ゲーム  
指文字スタンプで名刺づくり

### 耳の日まつり実行委員会

愛媛県聴覚障害者協会  
全国手話通訳問題研究会愛媛県支部  
愛媛県手話サークル連絡協議会

電話 089-923-7928  
FAX 089-923-7928

## 書籍紹介

### ■『新しい手話2010』

全日本ろうあ連盟出版局 定価 800 円 (税込)  
 毎年発行されているおなじみの本、2010 年度版が出ました。「ブルーレイディスク」「裁判員制度」「テンション」「告白」など、新しい手話が掲載されています。



### ■『デフライフジャパン』

アメリカのろう雑誌「Deaf Life」の日本版「Deaf Life Japan (デフライフジャパン)」が発刊されました。編集スタッフが全員、耳の聞こえないろう者たちです。誌面に登場する方も皆、ろう者です。

ろう者編集の隔月刊誌 A5 サイズで、87 ページ 年間購読料 3,500 円

問い合わせ…デフライフジャパン購読係

(FAX のみ 03-3703-5982) へ

D L J デフライフジャパン出版事務局のホームページを御覧ください。

<http://www.deaflifejapan.com>



創刊号(2010年1・2月号)→

## 校歌の手話を紹介します。

卒業式・入学式の季節です。今回は、式典などで歌っている校歌の手話について紹介してみたいと思います。

ぜひ、一度確認して、卒業式や入学式などで一緒に歌ってみてください。

校歌の手話は、平成 20 年に開催された松山聾学校の 100 周年式典の中で、手話付きの校歌を歌おうということで検討されることになりました。これには、本校の O B の希望も強くあり、それにこたえる形で踏み切られました。実は、それまでは、本校では校歌は手話なしで歌っているのが普通でした。

校歌の手話を検討するに当たって、何もないところ

からの作業は大変であったので、当時幼稚部が分かりやすく校歌に手話を付けて歌っていたものがあり、それを基本に考えていくことにしました。

平成 19 年、校歌の手話検討委員会がもたれ、校歌の手話が決定しました。校歌を手話付きで歌うようになったのも、つい最近のことなのです。

本校の校歌の歌詞は以下のようになっています。これまで、きちんと紹介したことがなかったので、今回紙面を借りて紹介してみたいと思います。次の 2 ページにわたり手話を紹介しています。分かりづらいところは、式典等で実際の動きを見て、確かめてください。

### 愛媛県立松山聾学校 校歌

作詞 篠木重徳  
 作曲 河野博

一 白い雪 朝日に輝く  
 石鏡の峯 遠くみて  
 希望あふれる 明るい学び舎  
 おーい おーいと呼びあつて  
 美しく  
 心と体を 鍛えよう

二 青い海 夕日に輝く  
 さざなみの瀬戸 近くみて  
 夢もふくらむ 楽しい学び舎  
 おーい おーいと呼びあつて  
 たくましく  
 心と体を 鍛えよう

※次のページの手話イラストと解説は、『日本語手話辞典』(全日本ろうあ連盟出版局)や『おやこ手話じてん』(東邦出版)を参考にしています。

しろい



〈白〉で表現。歯の白いさまを表す。右人差指で前歯を指さし、左へ引く。

ゆき



〈雪〉で表現。両手の親指と人差指で作った丸を揺らしながら下におろす。

あさ ひに



〈日が昇る〉で表現。水平線から太陽が上に昇っていくさまを表す。左てのひらの下をくぐって右手の親指と人差指で作った閉じない丸を上にあげる。



〈光〉太陽が昇ったところから、すぼめた右手を下に向かって開く。

かがやく



山の雪が光るさまを表す。山の頂点からきらきらと光る感じで両手を閉じたり、開いたりする。

い し づ ち の



石鎚山は、天狗岳から、〈天狗〉で表現する。

みね



〈山〉で表現。右手で山形を描く。

とおく



〈遠い〉で表現。親指と人差指を閉じた両手をつき合わせ、右手を弧を描いて前方高めに出す。

みて



〈見る〉で表現。目の位置から右手の2指の指先を前に出し、遠くに目をやるようにする。

きぼう



〈希望〉で表現。てのひらを下に向けた右手の指先を揺らしながら頭から前に出す。

あふれる



〈たくさん〉で表現。軽く開いた両てのひらを手前に向けて、揺らしながら左右に開く。

あかるい



〈明るい〉で表現。目の前が明るいさまを表す。両てのひらを前に向けて交差させ、左右に開く。

まなびや



〈学校〉(勉強+場所)で表現。指先を上に向けて両手を並べて軽く前に出す。

全指を曲げた右手を前に軽く置く。

おーい



両手を軽く曲げて口元に当て、「おーい」と言う。軽く右に向いて言う。

おーいと



軽く左を向いて言う。

よび



〈集める〉で表現。呼び寄せるように両手を手前に招き寄せる。右方向に2回。

あって



同様に招き寄せる。左方向に2回。

うつくしく



〈美しい〉で表現。左てのひらの上を右てのひらを滑らせるようになめ前に出す。

こころと



右人差指で、胸のところを小さく円を描く。

からだを



〈体〉で表現。右てのひらを体の上で回す。

きたえよう



〈鍛える〉で表現。ひじを張り、両手こぶしで胸を同時に3回たたく。

あおい



〈青〉で表現。  
右てのひらをほおに軽く当て、後ろに引く。

うみ



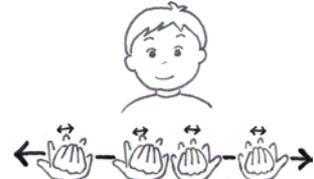
〈海〉で表現。  
右小指を口元に当てて塩辛いを示して、次にてのひらを波のように動かして表す。

ゆうひに



〈日が沈む〉で表現。  
左手甲を上に向け、その前を右手の親指と人差指で閉じない丸を作って下におろす。

かがやく



波を作ったあたりで、すぼめた両手を閉じたり、開いたりし、左右に開く。

さざなみの



〈波〉で表現。  
右てのひらを下にしてやさしく波打たせながら右に動かす。

せ



指文字  
〈せ〉

と



指文字  
〈と〉

ちかく



〈近い〉で表現。  
親指と人差指を閉じた両手を左右からさっと近づける。

みて



〈見る〉で表現。目の位置から右手の2指の指先を前に出し、前方に目をやるようにする。

ゆめも



〈夢〉で表現。  
指先を軽く曲げて、てのひらを上に向けた右手を頭から揺らしながら前を出す。

ふくらむ



〈大きい〉で表現。  
両手を軽く曲げて向かい合わせ頭の高さで左右に広げる。

たのしい



〈うれしい・楽しい〉で表現。  
両てのひらを胸に当て、交互に上下させる。

まなびや



〈学校〉(勉強+場所)で表現。  
指先を上に向けて両手を並べて軽く前に出す。  
全指を曲げた右手を前に軽く置く。

おーい



両手を軽く曲げて口元に当て、「おーい」と言う。軽く右に向いて言う。

おーいと



軽く左を向いて言う。

よび



〈集める〉で表現。  
呼び寄せるように両手を手前に招き寄せる。右方向に2回。

あって



同様に招き寄せる。左方向に2回。

たくましく



〈強い〉で表現。  
両手のこぶしを握り、ひじを曲げて力こぶを作るようにする。

こころと



右人差指で、胸のところを小さく円を描く。

からだを



〈体〉で表現。  
右てのひらを体の上で回す。

きたえよう



〈鍛える〉で表現。  
ひじを張り、両手こぶしを胸を同時に3回たく。